

甲賀地域における園芸振興

甲賀農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

水田を活用した園芸部門の導入・拡大に向け、JA 園芸部会員、大規模農家、集落営農組織等を対象とした契約取引、市場出荷を基本する産地形成型園芸、女性層、高齢者層、新規就農者、定年帰農者等を対象とした JA の花野果市(はなやかいち)をはじめとした直売所出荷である産地消費型園芸、甲賀の伝統野菜を実需者と安定した取引を前提とするブランド型園芸の3つを組み合わせた「こうか型園芸産地」づくりを目指し、活動を行いました。

【普及活動の内容】

1. 園芸振興プロジェクト会議の定期的な開催による振興方策の検討

県、市、JA などが国・県・市・JA の各事業を活用しながら、園芸振興を協議する場(園芸振興プロジェクト)を甲賀地域農業センター事業に位置づけ、年間活動スケジュールの樹立、定期的な会議の開催、生産振興方策の検討、講習会や栽培研修会の企画立案等を行いました。

2. 新規栽培者発掘のための情報発信

農事改良組合長会議、集落営農リーダー交流会等で野菜振興策を示し、作付け推進を図るとともに、市の広報紙等を活用し、新規栽培者の掘り起こしを積極的に行いました。また、新規栽培者を対象とした『花野果』園芸講座を年3回開催し、直売所出荷するよう誘導するとともに、直売所の活性化と出荷者の所得確保を目的として、園芸用機械の実演会や直売所の商品の充実等を目指し、「甲賀地域野菜栽培研修会」を開催しました。



園芸講座現地研修会
(水口町春日営農組合：10/25)

3. 栽培農家への技術支援

JA こうかが重点3品目と位置付けているかぼちゃ、キャベツ、たまねぎについては、栽培研修会、現地圃場巡回を定期的に行い、栽培農家への支援を積極的に行いました。また、直売所出荷者向け栽培研修会を年間2回、それぞれ管内4会場で開催し、直売所出荷品目の拡大・充実を目指しました。



甲賀地域野菜栽培研修会(11/23)

【普及活動の成果】

直売所出荷者は平成22年度から24年度に110名増加し、水田における野菜栽培面積が34ha拡大しました。また、新たな動きとして、JA こうかが、耕作放棄地および獣害対策と園芸振興を目的とした「JA農場(モデル圃場)」を3カ所設置、運営を開始しました。

今後も、関係機関と協力、役割分担し、野菜の生産拡大に向けた取組を実施するとともに、JA農場との連携も図りながら、甲賀地域の園芸を振興する普及活動を展開します。